

平成21年度

日南市内遺跡発掘調査概報

2010. 3

宮崎県日南市教育委員会

平成21年度

日南市内遺跡発掘調査概報

- 1 飫肥城跡遺跡（農地天地返し予定地）
- 2 宮ノ原遺跡（携帯電話基地局建設予定地）
- 3 （株）コメリ店舗建設予定地
- 4 和田迫遺跡（マンション建設予定地）
- 5 飫肥城下町遺跡（スーパー店舗建設予定地）
- 6 飫肥城下町遺跡（個人住宅建設予定地）
- 7 飫肥城下町遺跡（個人住宅建設予定地）
- 8 鍬代田遺跡（携帯電話基地局建設予定地）
- 9 かわにし脳神経外科クリニック建設予定地
- 10 飫肥城跡遺跡（大手門料金所建設予定地）
- 11 宮鶴遺跡（携帯電話基地局建設予定地）
- 12 飫肥街道（飫肥街道環境整備に伴う試掘調査）

2010. 3

宮崎県日南市教育委員会

序

この報告書は、日南市教育委員会において、平成21年度に埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査の概要報告書です。本市教育委員会では、埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち、試掘、確認調査を実施しております。

日南市は、平成21年3月30日に、旧北郷町、旧南郷町と合併し、新「日南市」となりました。旧日南市においては毎年平均5～6件の試掘確認調査を実施しておりましたが、合併により調査対象の範囲も拡大し、本年度は12件の試掘確認調査を実施いたしました。合併後の日南市では、約260件の埋蔵文化包蔵地が周知のものとなっております。今後も、市内で行われる多くの各種開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財について、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねていきたいと思います。

なお、調査を実施するにあたり、各開発関係者並びに地元の方々におかれましては、埋蔵文化財の保護に格別の御理解と御配慮を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。また、御指導・御助言をくださいました宮崎県教育庁文化財課並びに現地調査と整理作業に御協力くださいました作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成22年3月

日南市教育長 安野 喜宏

例　　言

- 1 本書は、平成21年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち、埋蔵文化財の有無を確認するために実施した発掘調査概要報告書である。
- 2 調査地及び調査期間は次のとおりである。
 - (1) 飫肥城跡遺跡（農地天地返しに伴う確認調査）
日南市板敷7616-1外
調査面積：17.25m² 現地調査：平成21年5月26日
 - (2) 宮ノ原遺跡（NTTドコモ携帯電話基地局建設に伴う確認調査）
日南市大字萩之嶺字大園原725-2
調査面積：5m² 現地調査：平成21年6月5日
 - (3) 株式会社コメリ店舗建設に伴う試掘調査
日南市南郷町中村乙730外
調査面積：15m² 現地調査：平成21年6月16日
 - (4) 和田追遺跡（マンション建設に伴う確認調査）
日南市大字戸高字和田追1072-1
調査面積：7.9m² 現地調査：平成21年9月15日
 - (5) 飫肥城下町遺跡（スーパー店舗建設に伴う確認調査）
日南市飫肥5丁目4098-2
調査面積：8.8m² 現地調査：平成21年11月26日
 - (6) 飫肥城下町遺跡（個人住宅建設に伴う確認調査）
日南市飫肥5丁目4105-5
調査面積：26m² 現地調査：平成22年1月25日～平成22年1月27日
 - (7) 飫肥城下町遺跡（個人住宅建設に伴う確認調査）
日南市飫肥3丁目8136-1、8136-2
調査面積：12m² 現地調査：平成22年2月8日
 - (8) 鍾代田遺跡（KDDI携帯電話基地局建設に伴う確認調査）
日南市北郷町北河内4177-1
調査面積：5.25m² 現地調査：平成22年2月16日～平成22年2月17日
 - (9) かわにし脳神経外科クリニック建設に伴う試掘調査
日南市吾田西1丁目4177-1、4176-1、4175-1
調査面積：9.84m² 現地調査：平成22年2月23日～平成22年2月24日
 - (10) 飫肥城跡遺跡（大手門料金所建設に伴う確認調査）
日南市飫肥10丁目4242-1
調査面積：4.86m² 現地調査：平成22年2月25日

(11) 宮鶴遺跡（KDDI携帯電話基地局建設に伴う確認調査）

日南市北郷町郷之原甲1695-1

調査面積：2.25m² 現地調査：平成22年3月3日

(12) 餅肥街道（餅肥街道環境整備に伴う試掘調査）

日南市北郷町郷之原

調査面積：21.5m² 現地調査：平成22年3月5日～平成22年3月17日

3 調査主体・・・日南市教育委員会

教 育 長 安野 喜宏

文化生涯学習課長 中村 武美

補佐兼文化財係長 岡本 武憲

庶務担当・・・・ 主 査 平原 英樹

調査担当・・・・ 主 査 平原 英樹

調査作業員・・・・・・・・・・・・ 新谷和文、日野 昇、谷合 浩、中村安宏、坂本生一、
日高義明、川瀬満政、川瀬康弘、山下留美子、門川泰子、
石川修司、酒匂憲二、渡辺 功、梶谷京子、中竹スミ子

調査整理作業員・・・・・・・・・・・・ 山下麻衣子

4 現地調査は、平原が行った。

5 本書の執筆編集は平原が行った。

本文目次

| | | |
|----|----------------------------------|----|
| 1 | 飫肥城跡遺跡（農地天地返しに伴う確認調査） | 2 |
| 2 | 宮ノ原遺跡（N T T ドコモ携帯電話基地局建設に伴う確認調査） | 6 |
| 3 | 株式会社コメリ店舗建設予定地（試掘調査） | 10 |
| 4 | 和田迫遺跡（神崎建設工業マンション建設に伴う確認調査） | 16 |
| 5 | 飫肥城下町遺跡（スーパーとむら店舗建設に伴う確認調査） | 20 |
| 6 | 飫肥城下町遺跡（大手地区個人住宅建設に伴う確認調査） | 24 |
| 7 | 飫肥城下町遺跡（十文字地区個人住宅建設に伴う確認調査） | 28 |
| 8 | 鍛代田遺跡（K D D I 携帯電話基地局建設に伴う確認調査） | 32 |
| 9 | かわいし脳神経外科クリニック建設予定地（試掘調査） | 36 |
| 10 | 飫肥城跡遺跡（飫肥城大手門料金所建設に伴う確認調査） | 40 |
| 11 | 宮鶴遺跡（K D D I 携帯電話基地局建設に伴う確認調査） | 44 |
| 12 | 飫肥街道（飫肥街道環境整備に伴う試掘調査） | 48 |

挿図目次

| | | |
|------|-----------------------------------|----|
| 第1図 | 農地天地返し予定地位置図 | 2 |
| 第2図 | 農地天地返し予定地トレンチ配置図 | 3 |
| 第3図 | N T T ドコモ携帯電話基地局建設予定地位置図 | 6 |
| 第4図 | N T T ドコモ携帯電話基地局建設予定地トレンチ配置図 | 7 |
| 第5図 | N T T ドコモ携帯電話基地局建設予定地土層断面図 | 8 |
| 第6図 | 株式会社コメリ店舗建設予定地位置図 | 10 |
| 第7図 | 株式会社コメリ店舗建設予定トレンチ配置図 | 11 |
| 第8図 | 株式会社コメリ店舗建設予定土層断面図 | 13 |
| 第9図 | 神崎建設工業マンション建設予定地位置図 | 16 |
| 第10図 | 神崎建設工業マンション建設予定地トレンチ配置図 | 17 |
| 第11図 | 神崎建設工業マンション建設予定地土層断面図 | 18 |
| 第12図 | スーパーとむら店舗建設予定地位置図 | 20 |
| 第13図 | スーパーとむら店舗建設トレンチ配置図 | 21 |
| 第14図 | スーパーとむら店舗建設土層断面図 | 22 |
| 第15図 | 大手地区個人住宅建設予定地位置図 | 24 |
| 第16図 | 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図 | 25 |
| 第17図 | 十文字地区個人住宅建設予定地位置図 | 28 |
| 第18図 | 十文字地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図 | 29 |
| 第19図 | K D D I 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）位置図 | 32 |
| 第20図 | K D D I 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）トレンチ配置図 | 33 |
| 第21図 | K D D I 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）土層断面図 | 34 |

| | | |
|--------|---------------------------------|----|
| 第 22 図 | かわにし脳神経外科クリニック建設予定地位置図 | 36 |
| 第 23 図 | かわにし脳神経外科クリニック建設予定地トレンチ配置図 | 37 |
| 第 24 図 | 飫肥城大手門料金所建設予定地位置図 | 40 |
| 第 25 図 | 飫肥城大手門料金所建設予定地トレンチ配置図 | 41 |
| 第 26 図 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）位置図 | 44 |
| 第 27 図 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）トレンチ配置図 | 45 |
| 第 28 図 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）土層断面図 | 46 |
| 第 29 図 | 飫肥街道（日南市北郷町）位置図 | 48 |
| 第 30 図 | 飫肥街道（日南市北郷町）トレンチ配置図 | 49 |

図版目次

| | | |
|-------|----------------------------------|----|
| 図版 1 | 農地天地返し予定地調査区全景 | 3 |
| 図版 2 | 農地天地返し予定地トレンチ調査状況 | 4 |
| 図版 3 | NTT ドコモ携帯電話基地局建設予定地全景 | 7 |
| 図版 4 | NTT ドコモ携帯電話基地局建設予定地トレンチ調査状況 | 8 |
| 図版 5 | 株式会社コメリ店舗建設予定地調査区全景 | 11 |
| 図版 6 | 株式会社コメリ店舗建設予定地トレンチ調査状況 | 12 |
| 図版 7 | 神崎工業マンション建設予定地調査区全景 | 17 |
| 図版 8 | 神崎工業マンション建設予定地トレンチ調査状況 | 18 |
| 図版 9 | スーパーとむら店舗建設予定地調査区全景 | 21 |
| 図版 10 | スーパーとむら店舗建設予定地トレンチ調査状況 | 22 |
| 図版 11 | 大手地区個人住宅建設予定地調査区全景 | 25 |
| 図版 12 | 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ調査状況 | 26 |
| 図版 13 | 十文字地区個人住宅建設予定地調査区全景 | 29 |
| 図版 14 | 十文字地区個人住宅建設予定地トレンチ調査状況 | 30 |
| 図版 15 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）調査区全景 | 33 |
| 図版 16 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）トレンチ調査状況 | 34 |
| 図版 17 | かわにし脳神経外科クリニック建設予定地調査区全景 | 37 |
| 図版 18 | かわにし脳神経外科クリニック建設予定地トレンチ調査状況 | 38 |
| 図版 19 | 飫肥城大手門料金所建設予定地調査区全景 | 41 |
| 図版 20 | 飫肥城大手門料金所建設予定地トレンチ調査状況 | 42 |
| 図版 21 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）調査区全景 | 45 |
| 図版 22 | KDD I 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）トレンチ調査状況 | 46 |
| 図版 23 | 調査区周辺の飫肥街道 | 49 |
| 図版 24 | 飫肥街道トレンチ調査状況 1 | 50 |
| 図版 25 | 飫肥街道トレンチ調査状況 2 | 51 |



- | | | |
|-----------------|-----------|-----------------------|
| 1 館肥城跡遺跡 | 5 館肥城下町遺跡 | 9 かわにし脳神経外科クリニック建設予定地 |
| 2 宮ノ原遺跡 | 6 館肥城下町遺跡 | 10 館肥城跡遺跡 |
| 3 (株)コメリ店舗建設予定地 | 7 館肥城下町遺跡 | 11 宮鶴遺跡 |
| 4 和田迫遺跡 | 8 銀代田遺跡 | 12 館肥街道 |

〔調査地位置図〕

1 飫肥城跡遺跡（農地天地返しに伴う確認調査）

〔位置と環境〕

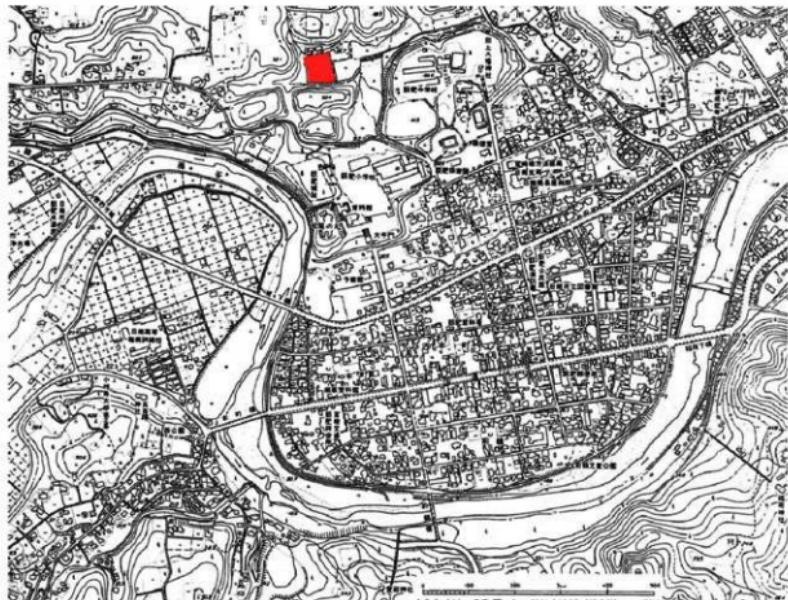
調査対象地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である飫肥城下町遺跡及び飫肥城跡内に位置し、日南市板敷の飫肥小中学校グラウンド北側の谷部に開けた水田である。長らく水田としての利用はされておらず放置されたままの状態であったため、調査時点では荒地となっていた。調査区の周囲はシラス台地の崖に囲まれており、地表面に水たまりができるほどの湿地帯である。

〔調査の経緯〕

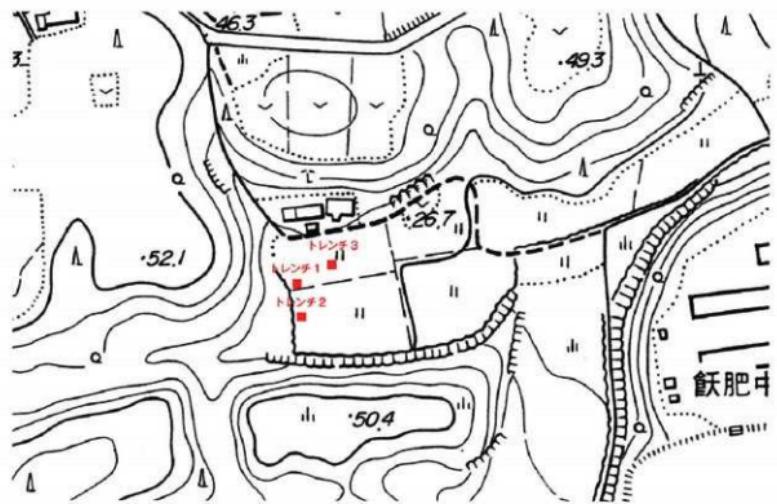
日南市農業委員会事務局より、農地売買に伴い個人が荒地を整地する際の文化財の取り扱いについて問い合わせがあった。当該地は飫肥城下町遺跡及び飫肥城跡にかかる周知の埋蔵文化財包蔵地内であったため、整地に先立ち確認調査を実施した。整地予定地は畑地を除く水田部分であるため、調査はこの水田部分のみを対象に、トレンチ1（ $2.5\text{m} \times 2.5\text{m}$ ）、トレンチ2（ $2\text{m} \times 2.5\text{m}$ ）、トレンチ3（ $2\text{m} \times 3\text{m}$ ）を設定し、重機及び人力による掘り下げを行い、遺構と遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

調査の結果、いずれのトレンチからも遺物、遺構は検出されなかった。トレンチ1とトレンチ2は0.5mほど掘り下げたところで、トレンチ3は1mほど掘り下げたところで水が溜まり始めた。表土より下は、いずれのトレンチもシラスの流れ込みによって形成された層であった。



第1図 農地天地返し予定地位置図



第2図 農地天地返し予定地トレンチ配置図 ($S=1/2,500$)



図版1 農地天地返し予定地調査区全景



トレンチ 1



トレンチ 2



トレンチ 3

図版 2 農地天地返し予定地トレンチ調査状況

2 宮ノ原遺跡（N T T ドコモ携帯電話基地局建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

調査地は畠地であり、周知の埋蔵文化財包蔵地である宮ノ原遺跡内に位置する。宮ノ原遺跡は丘陵端部の緩い傾斜地に位置し、調査地の西側には南流する細田川を挟んで東原遺跡が所在し、宮ノ原遺跡のすぐ北には馬込ヶ原遺跡が隣接している。馬込ヶ原遺跡の東には富山堂免遺跡と石脇遺跡、東原遺跡の西には上村遺跡や數権遺跡が所在するなど、宮ノ原遺跡の周囲には縄文から中世、近世にかけての遺跡が多く存在している。

〔調査の経緯〕

株式会社エヌ・ティ・ティドコモの携帯電話基地局建設に伴い、日南市教育委員会に文化財の所在の有無についての照会があった。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地であることから、確認調査を実施することとなった。調査地にトレント1（1m×3m）とトレント2（1m×2m）を設定し、人力による掘り下げを行った。

〔調査の結果〕

調査の結果、トレント2より4cm大の鉄滓のかたまり3点、ふいごの破片1点、土師器小片1点、青磁小片1点が、地表下約1.3mから出土した。遺構は確認されなかった。鉄滓とふいごの破片が検出されたことから、周囲に製鉄関連遺構が存在する可能性が考えられる。ただし、工事の掘削深度が遺物検出面に達しないことや、掘削深度内に遺物包含層が確認されないことから、遺跡の措置としては工事立会とした。



第3図 NTTドコモ携帯電話基地局建設予定地位置図



第4図 NTT ドコモ携帯電話基地局建設予定地 トレンチ配置図 (S=1/2,500)



図版3 NTT ドコモ携帯電話基地局建設予定地全景



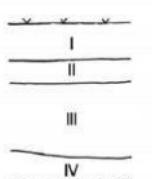
トレンチ1



トレンチ2

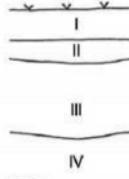
図版4 NTTドコモ携帯電話基地局建設予定地トレンチ調査状況

トレンチ1



- I 表土
- II 暗褐色土 造成土
- III 暗褐色土
- IV 黒褐色土

トレンチ2



- I 表土
- II 暗褐色土 造成土
- III 暗褐色土
- IV 黒褐色土

0 1m

第5図 NTTドコモ携帯電話基地局建設予定地土層断面図

3 (株) コメリ店舗建設予定地（試掘調査）

【位置と環境】

調査対象地は、外浦港から約 1.5 km 内陸に位置した水田である。調査地を含め、周囲には周知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

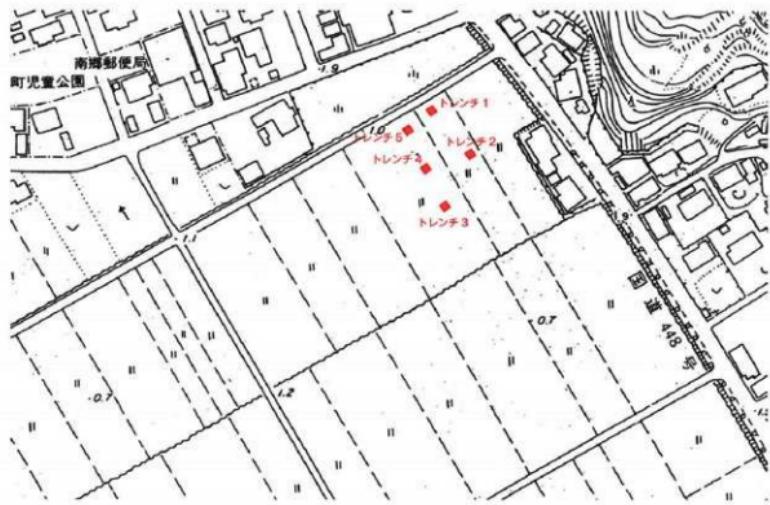
【調査の経緯】

(株)コメリから開発行為の相談が日南市建設課にあり、建設課と関係各課との事前協議を行うにあたり、指摘事項、指導事項等の問い合わせがあった。旧地形では当該地周辺まで海岸線が入り込んでいることから、外浦間連の港湾遺構等が存在する可能性を考慮して試掘調査を実施することとなった。調査は店舗建設部分を対象範囲とした。1. 2 m × 2. 5 m のトレンチを 5ヶ所設定し、重機による掘り下げを行った。

【調査の結果】

表土の下はシラスと砂混じりの客土で多量の貝殻が混ざっている。その下は旧地形の浜砂の層であるが、この層にも二枚貝やカキなど多量の貝殻が含まれており、この周辺まで海が入り込んでいたことを示している。調査の結果、いずれのトレンチからも、遺物や遺構等生活の痕跡を示すものは確認されなかった。





第7図 株式会社コメリ店舗建設予定トレンチ配置図 (S=1/2,500)



図版5 株式会社コメリ店舗建設予定地調査区全景



トレンチ1



トレンチ2



トレンチ3

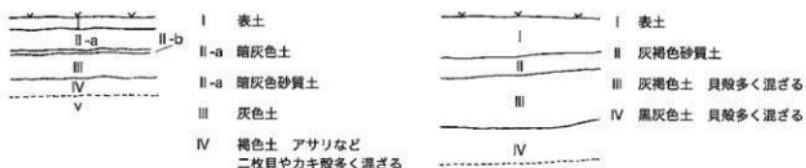


トレンチ4



トレンチ5

図版6 株式会社コメリ店舗建設予定地トレンチ調査状況



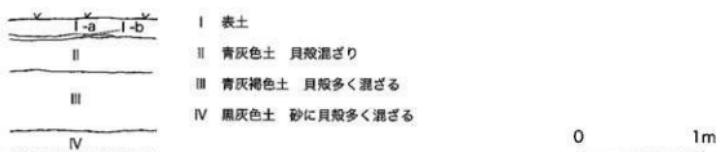
トレンチ 1

トレンチ 4



トレンチ 2

トレンチ 5



第8図 株式会社コメリ店舗建設予定地土層断面図

4 和田迫遺跡（神崎建設工業マンション建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

調査地の現況は宅地であり、周知の埋蔵文化財包藏地である和田迫遺跡内に位置する。和田迫遺跡は弥生から中世にかけての散布地である。和田迫遺跡の西側丘陵上には、中世の縣城跡がある。この丘陵縁辺部の下には、繩文から中近世にかけての遺跡が多く存在する。また、これらの遺跡は、日南市街地の西側に広がる丘陵端部に密集するが、その東側に開ける市街地平野部には周知の埋蔵文化財包藏地は確認されていない。

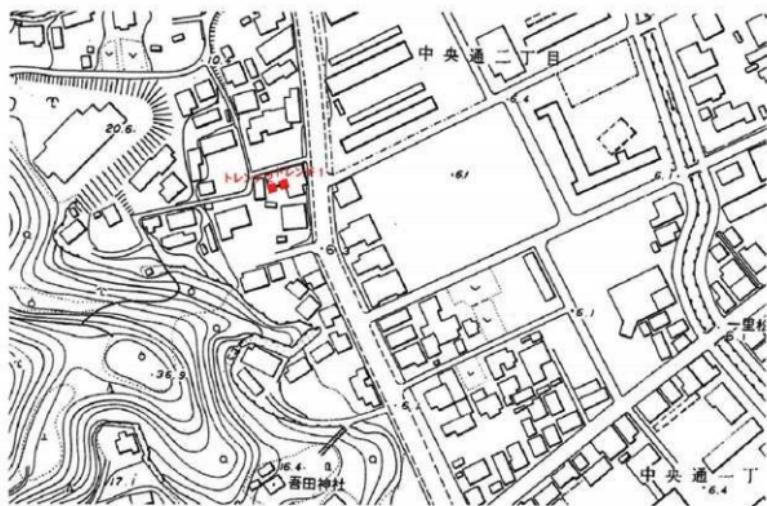
〔調査の経緯〕

共同住宅建設に伴い、日南市教育会に文化財の所在の有無についての照会があった。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地であることから、確認調査を実施することとなった。調査は家屋撤去後、調査地にトレンチ1 (1.4m×2 m) とトレンチ2 (1.5m×3.4m) を設定し、重機と人力による掘り下げを行った。

〔調査の結果〕

調査の結果、遺物・遺構は確認されなかった。





第10図 神崎建設工業マンション建設予定地トレンチ配置図 ($S=1/2,500$)



図版7 神崎建設工業マンション建設予定地調査状況

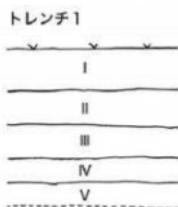


トレンチ 1

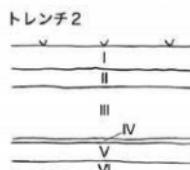


トレンチ 2

図版8 神崎建設工業マンション建設予定地トレンチ調査状況



I 表土
II 灰色粘質土
III 青灰色粘質土
IV 暗灰色粘質土
V 黒灰色粘質土



I 表土
II 灰色粘質土
III 青灰色粘質土
IV 暗灰色粘質土
V 黒灰色粘質土
VI 緑灰色粘質土

0 1m

第11図 神崎建設工業マンション建設予定地土層断面図

5 飫肥城下町遺跡（スーパーとむら店舗建設に伴う確認調査）

【位置と環境】

調査地は、日向灘から約8km内陸の周知の埋蔵文化財包蔵地である鯖城下町遺跡内にあり、城下町の中級家臣屋敷地を構成する区画に位置する。町屋は城下のほぼ中央の東西街路に沿って配置されており、北側は中級家臣屋敷地、南側は中級家臣屋敷地及び下級家臣屋敷地であった。現在の鯖肥の町並みの基本構成は、江戸時代初期の町割とほとんど変わっておらず、南北三街路、東西七街路の直線的な計画街路によって地割されている。

【調査の経緯】

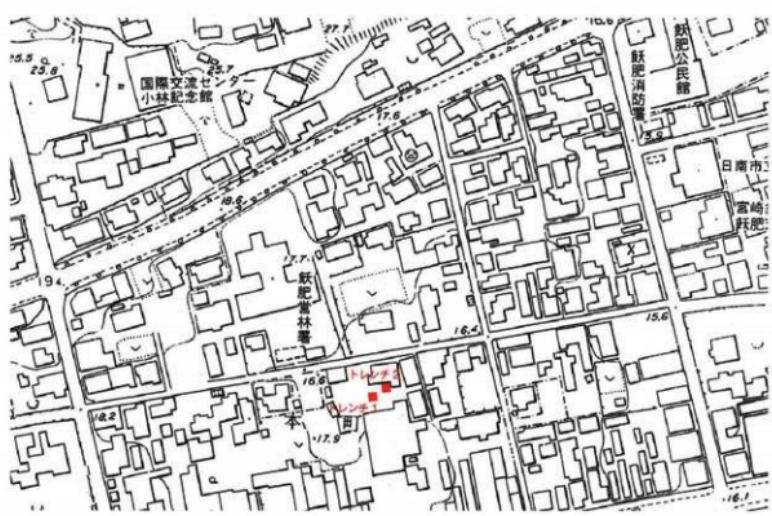
スーパーの店舗増設計画に伴い確認調査を実施した。調査地にトレント1（2m×3m）とトレント2（1.4m×2m）を設定し、重機により地表面から約1.5mまでの掘り下げを行い、遺物・遺構の検出に努めた。

【調査の結果】

各トレントとともに、地表から約1.5mで柱穴を1つずつ検出した。柱穴の深さは直径約30cm、検出面からの深さは約20cmである。遺物は、トレント2の柱穴から陶器の破片を1点検出した。トレント1は地表から約1.1m、トレント2は地表から約1.4mまで盛土となっており、各トレントとともに遺物の包含層は確認されなかった。建物の掘削深度が遺構検出面にまで届かないことから、工事による遺構への影響はない判断した。



第12図 スーパーとむら店舗建設予定地位置図



第13図 スーパーとむら店舗建設トレンド配置図 (S=1/2,500)



図版9 スーパーとむら店舗建設予定地調査区全景



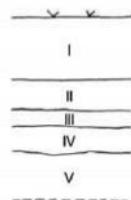
トレンチ1



トレンチ2

図版10 スーパーとむら店舗建設予定地トレンチ調査状況

トレンチ1



- I 寄土 造成土
- II 寄土 造成土
- III 旧表土
- IV 暗灰色土
- V 黒褐色土

トレンチ2



- I 寄土 造成土
- II 寄土 造成土

0 1m

第14図 スーパーとむら店舗建設予定地土層断面図

6 飫肥城下町遺跡（大手地区個人住宅建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

調査地は、飫肥の伝統的建造物群保存地区には含まれていないが、周知の埋蔵文化財包蔵地である飫肥城下町遺跡内に位置している。飫肥城下町一帯は、江戸期の城下図に見られるように住宅と思われる区割りが詳細に描かれており、調査地も中近世以降の遺構が検出される可能性も高いと思われた。当該地は宅地であるが、現在は空き地となっている。

〔調査の経緯〕

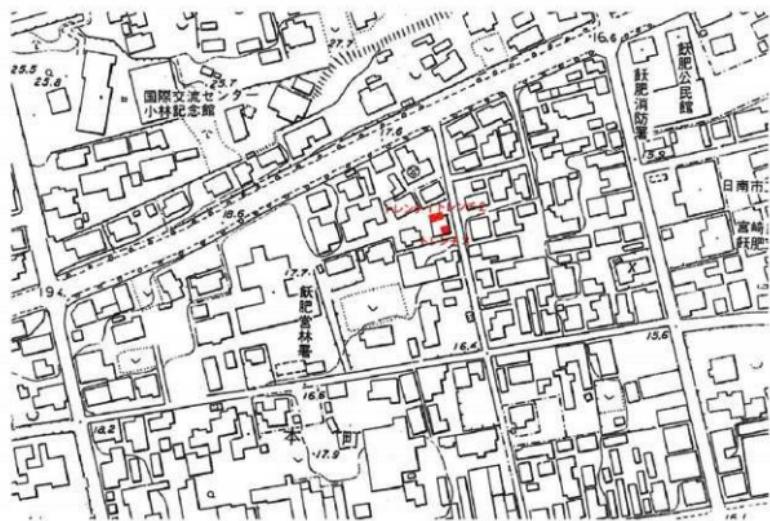
当該土地の所有者から個人住宅建設についての確認申請があったため、工事に先立ち確認調査を実施することとなった。調査対象地に $2\text{m} \times 5\text{m}$ のトレンチを 2ヶ所、 $2\text{m} \times 3\text{m}$ のトレンチを 1ヶ所設定し、重機及び人力により、段階的に 60 ~ 70 cmまでの掘削を行った。

〔調査の結果〕

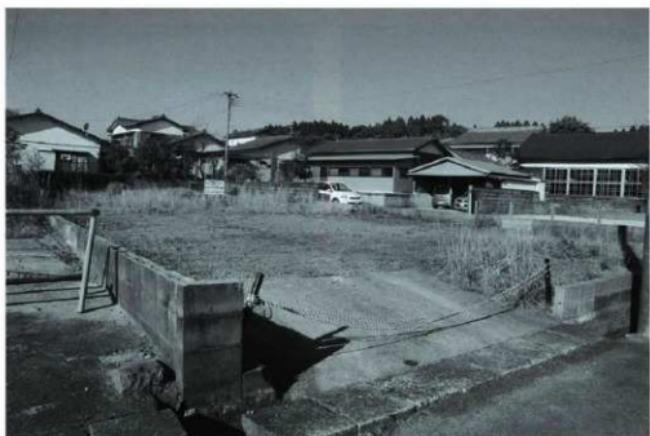
現地は、一部を除いて大部分が地表面から 50 cm以上の擾乱層となっていた。遺構、遺物ともに確認されなかった。



第 15 図 大手地区個人住宅建設予定地位位置図



第16図 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ配置図 (S=1/2,500)



図版11 大手地区個人住宅建設予定地調査区全景



トレンチ 1



トレンチ 2



トレンチ 3



調査状況

図版 12 大手地区個人住宅建設予定地トレンチ調査状況

7 飫肥城下町遺跡（十文字地区個人住宅建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

調査地は周知の埋蔵文化財包蔵地である飫肥城下町遺跡内に位置しており、城下との比高差約10mのシラス台地上にある。当該地は飫肥城下町の上級家臣屋敷地（十文字地区）の区画内であることから、中近世以降の遺構が検出される可能性があると思われた。調査地は現在宅地であるが、家屋新築のため古い家屋を取り壊しており、更地の状態であった。

〔調査の経緯〕

個人住宅建設についての確認申請があったため、工事に先立ち確認調査を実施することとなった。工事の掘削深度が約30cmまでであることを考慮して、調査対象地に2m×3mのトレントを2ヶ所設定し、重機及び人力による掘り下げを行った。トレント1は地表から約95cmまで、トレント2は地表から約45cmまで段階的に精査を行った。

〔調査の結果〕

調査の結果、遺構、遺物は確認されなかった。



第17図 十文字地区個人住宅建設予定地位置図



第18図 十文字地区個人住宅建設予定地トレーンチ配置図 ($S=1/2,500$)



図版 13 十文字地区個人住宅建設予定地調査区全景



トレンチ 1



トレンチ 2



調査状況

図版 14 十文字地区個人住宅建設予定地トレンチ調査状況

8 鍬代田遺跡（KDDI 携帯電話基地局建設に伴う確認調査）

(位置と環境)

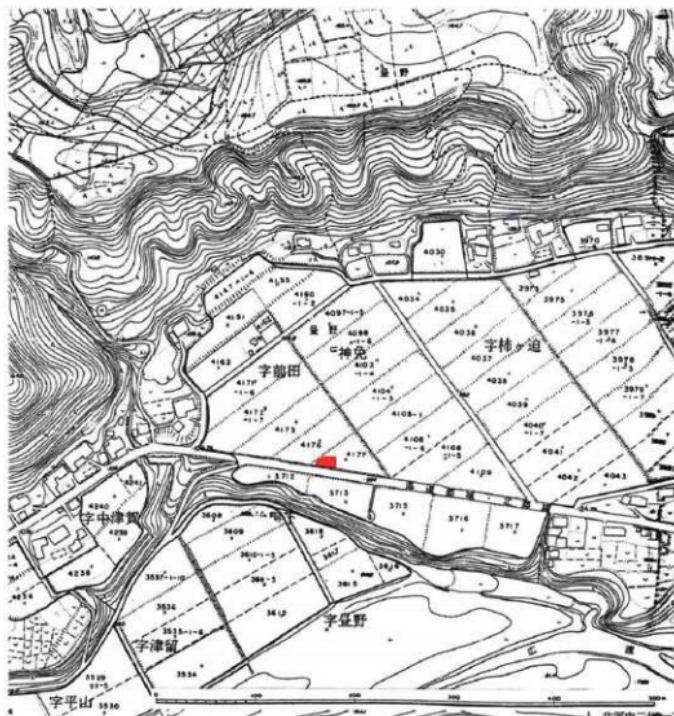
調査地は、広渡川に沿って山側に開かれた水田地帯であり、周知の埋蔵文化財包蔵地である鉢代田遺跡内に位置する。調査地点は過去のほ場整備での掘削を受けており、これより山手側に広がる水田はこの時掘削された土を盛って造成されている。調査地点は、鉢代田遺跡の範囲の北側縁辺部に位置しており、遺構・遺物が確認される可能性が高いと思われた。

〔調査の経緯〕

今回の調査は、KDD I 携帯電話無線基地局建設に伴う確認調査である。調査対象地に2ヶ所のトレレンチ(1.5m×1.5m, 1m×3m)を設定し、人力により地面から0.5m~1.1mまで掘り下げを行った。

〔調査の結果〕

どちらのトレンチからも、遺物及び遺構は確認されなかった。



第19図 KDDI携帯電話基地局建設予定地（星野地区）位置図



第20図 KDDI携帯電話基地局建設予定地（豊野地区）トレンチ配置図 ($S=1/2,500$)



図版15 KDDI携帯電話基地局建設予定地（豊野地区）調査区全景



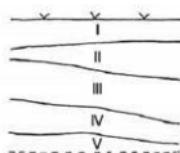
トレンチ 1



トレンチ 2

図版 16 KDDI 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）トレンチ調査状況

トレンチ 1



I 表土（水田）

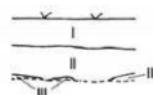
II アカホヤ

III 黒色土 非常に硬くしまりあり 粘性なし

IV 黒褐色土 粘性なし しまりあり

V 灰褐色土 粘性なし しまりあり

トレンチ 2



I 表土（水田）

II アカホヤ

III 黒色土

0 1m

第 21 図 KDDI 携帯電話基地局建設予定地（星野地区）土層断面図

9 かわにし脳神経外科クリニック建設に伴う試掘調査

〔位置と環境〕

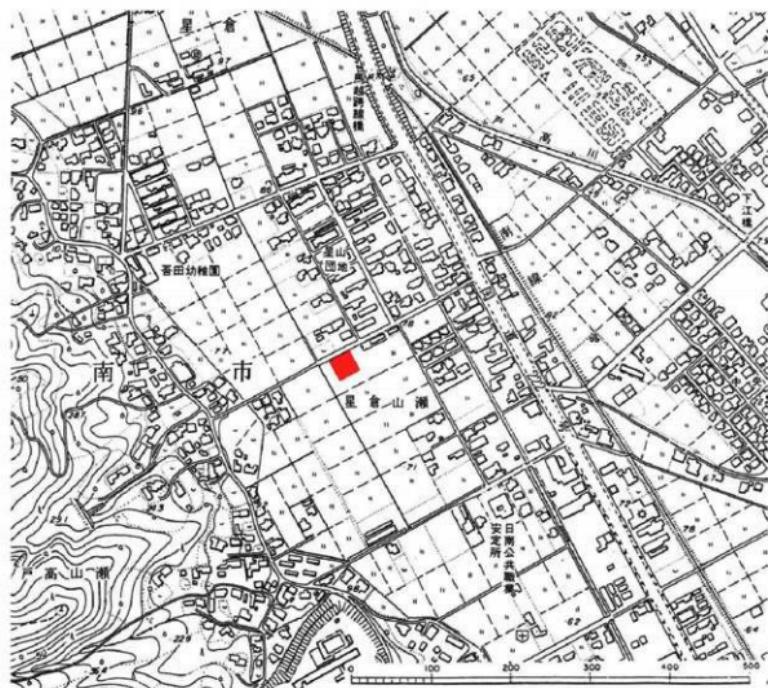
当該地は吾田地区の西側に位置する水田地帯であるが、現在は埋め立て造成されて更地となっている。周知の埋蔵文化財包蔵地は確認されていないが、周辺に平成20年度の試掘調査で発見された貝守遺跡が所在するため、遺跡発見の可能性が考えられた。

〔調査の経緯〕

かわごえ設計工房から病院建設に伴い、埋蔵文化財の有無の照会があつたため、事前に試掘調査を行うこととなった。敷地内のうち建物の建設計画部分に2ヶ所のトレンチ（2m×2.5m、2.2m×2.2m）を設定し、重機及び人力により最高深さ2.2mまでの掘り下げを行った。

〔調査の結果〕

調査の結果、各トレンチから遺構、遺物は確認されなかった。



第22図 病院建設予定地位置図



第23図 病院建設予定地トレンチ配置図 (S=1/500)



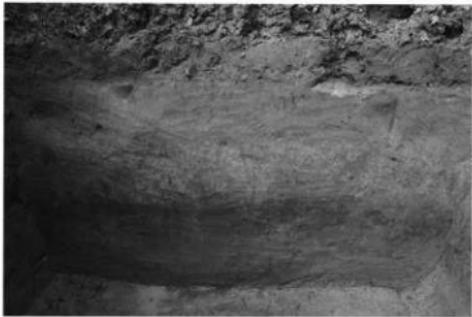
図版 17 病院建設予定地調査区全景



トレンチ 1



トレンチ 2



トレンチ 1 土層堆積状況

図版 18 病院建設予定地トレンチ調査状況

10 飫肥城跡遺跡（大手門料金所建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

飫肥城は日向灘から約8km内陸の小盆地に位置する。城下の北の一段高いシラス台地を空堀で区画した広大な城域を持ち、鰐塚山系から流れ出た酒谷川が城下町の西、南、東を蛇行して取り巻き、外堀の役割を果たしている。城下との比高差約10mのシラス台地上にある飫肥城内と上級家臣屋敷地は、貞享二年（1685）の絵図では三曲輪として城内との認識で描かれている。江戸時代を通じて、この高台への入り口には、追手（大手）口、十文字口、常信口、谷之口、永吉口の外門が設けられていた。

〔調査の経緯〕

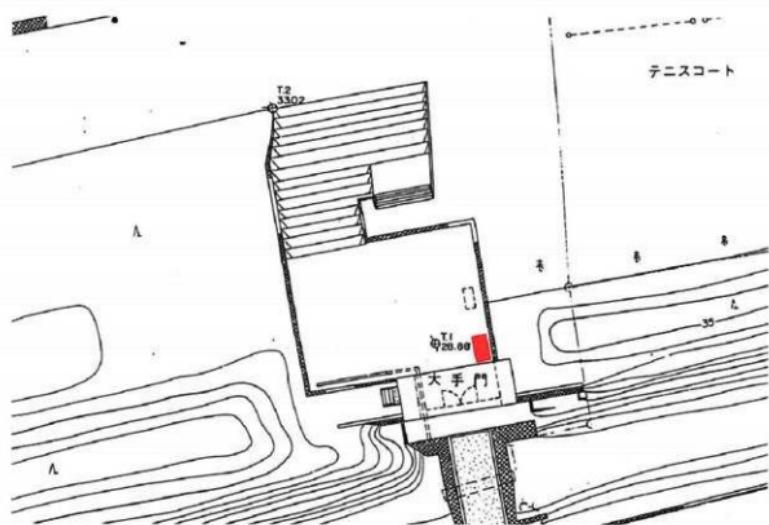
平成22年7月1日からの飫肥城由緒施設入館料の改定に伴い、大手門の内側に料金所を設置し、飫肥城及び由緒施設の入館料を徴収することになったため、料金所の設置工事に先立ち確認調査を実施することとなった。調査は1.8m×2.7mのトレーンチを設置し、約40cm（一部約60cm）まで人力による掘り下げを行い、遺物、遺構の検出に努めた。

〔調査の結果〕

現地表から約60cm下で旧地表と思われる硬化面を確認した。旧地表から現地表までの間は造成土である。遺物、遺構は確認されなかった。



第24図 飫肥城大手門料金所建設予定地位置図



第25図 低肥城大手門料金所建設予定地トレンチ配置図 (S=1/500)



図版19 低肥城大手門料金所建設予定地調査区全景



トレンチ完掘状況



調査状況

図版 20 飯肥城大手門料金所建設予定地トレンチ調査状況

11 宮鶴遺跡（KDDI 携帯電話基地局建設に伴う確認調査）

〔位置と環境〕

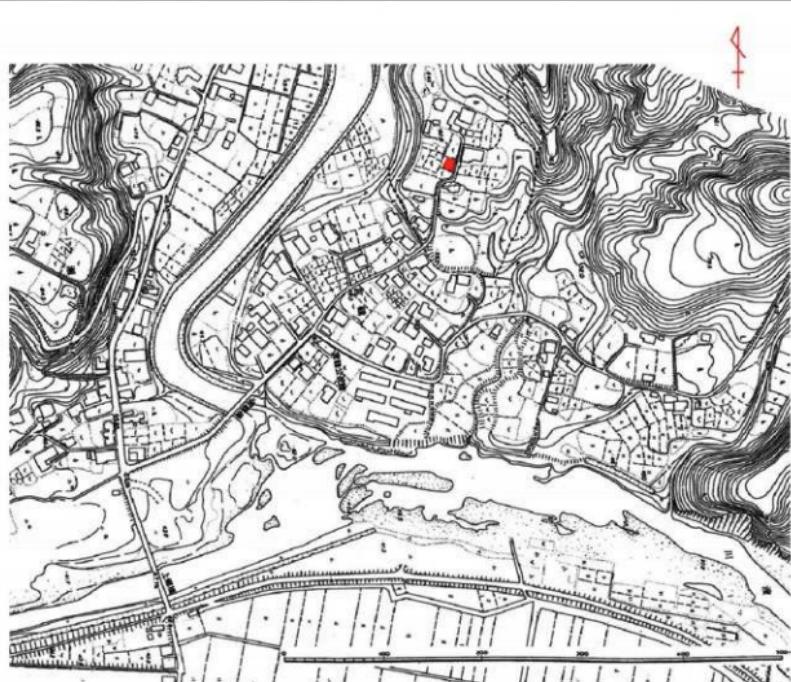
調査地は日南市北郷町の周知の埋蔵文化財包蔵地である宮鶴遺跡内に位置する。宮鶴地区は、西から流れてくる広渡川と北から流れてくる猪八重川の合流地点に接しており、北側の山手に向かって開けた日当たりの良い緩傾斜地で、遺物及び遺構が検出される可能性が高いと思われた。

〔調査の経緯〕

今回の調査は、KDDI 携帯電話無線基地局建設に伴う確認調査である。調査対象地に 1. 5 m × 1. 5 m のトレチを設定し、人力により地面から約 1. 2 m まで掘り下げを行った。

〔調査の結果〕

地表下約 40 cm ~ 110 cm の範囲から、貝殻条痕文、貝殻腹縁圧痕文を施すものなど約 40 点の土器片が出土した。遺物の出土は全て第Ⅳ層からである。第Ⅳ層の上部から下部に至る広い範囲で土器の分布が確認された。遺構は検出されなかった。



第 26 図 KDDI 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）位置図



第27図 KDDI携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）トレンチ配置図（S=1/1,000）



図版21 KDDI携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）調査区全景

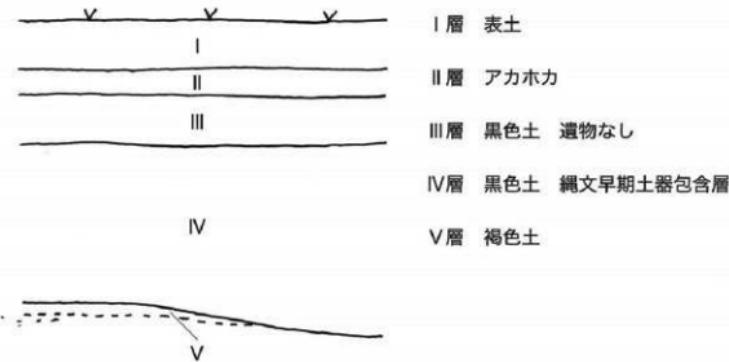


トレンチ完掘状況



土層断面

図版 22 KDDI 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）トレンチ調査状況



第 28 図 KDDI 携帯電話基地局建設予定地（宮鶴地区）土層断面図 ($S = 1 / 20$)

1.2 飯肥街道（飯肥街道環境整備に伴う試掘調査）

〔位置と環境〕

飫肥街道は、飫肥から山仮屋を経由し清武に至る道のりで、江戸時代、飫肥藩主の参勤交代路として利用された街道である。平成8年11月に飫肥～山仮屋間の飫肥街道が文化庁選定「歴史の道百選」に選定された。花立峠へと至る道のりは、街道の中でも急な坂が続く難所である。現在、花立公園には1万本の染井吉野や山桜などの桜があり、桜の名所として広く親しまれている。

〔調査の経緯〕

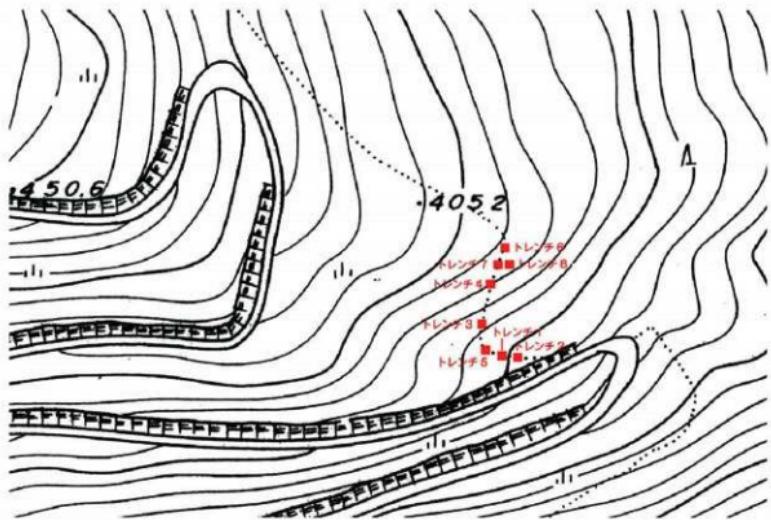
飫肥街道の保存整備については、これまで山仮屋関所跡を中心に街道周辺の草刈りや階段設置等の環境整備を行ってきた。最近では歴史の道散策への関心が高まり、来訪者も以前より多く見受けられるようになった。そのため、桜の名所である花立公園付近の飫肥街道についても、数年前から定期的に草刈り等の環境整備を行い、公園を訪れる散策者の安全確保のための整備を行ってきた。しかし、崩壊の進んだ箇所も随所に見受けられ、今後安全な環境整備を進めていく上で、街道の幅や危険箇所の把握等が喫緊の課題となっている。今回は、公園付近の飫肥街道を中心に、街道の消滅を防ぎながら安全な環境整備を行うために必要な情報を得るために、現況把握のための調査を行った。

〔調査の結果〕

街道と公園開削の際に人为的に削られた道との区別が難しい部分があった。街道そのものが掘削されて消滅している部分や公園造成時の廃土で街道そのものが覆われている部分、さらには猪等の動物による崩壊箇所等を確認した。当時の街道面は、表土直下の硬くしまった黒色土の上面である。



第29図 飫肥街道調査地位置図 (S=1/5,000)



第30図 トレンチ配置図 ($S=1/2,500$)



図版23 調査区周辺の糸肥街道



トレンチ1



トレンチ2



トレンチ3



造成廃土に覆われた部分

図版 24 飯肥街道トレンチ調査状況 1



トレンチ 4



トレンチ 5



街道崩壊箇所



作業状況

図版 25 飯肥街道トレンチ調査状況 2

日南市文化財調査報告書 第1集

平成21年度 日南市内遺跡発掘調査概報

2010年3月

編集発行 宮崎県日南市教育委員会
〒887-8585 日南市中央通一丁目1番地1
電話番号 0987-31-1145

印 刷 株式会社おび印刷
〒889-2535 日南市飼肥三丁目2番16号
電話番号 0987-25-1680

